

# みやぎの環境

特集：子供とともに考える

NO. 8



# 故郷に想う

将棋永世名人

中原 誠

私は十歳まで塩竈市で育った。当時は戦後間もないせいもあり、遊具などあまりなかった為か、戸外で野球をしたり相撲を取ったり、また近くの雑木林の中で一日中、虫などを追いかけて廻したり、さらには将棋の先生宅前に流れている小川の中で、泥まみれになって遊んでいた。自然の中で遊ぶことが好きで活発な少年時代のことを時折、なつかしく思い出すことがある。

将棋は五歳の時から始め、父の奨めでこの道に入った。

御存知のように、この世界は「一手」で勝敗が左右される厳しい勝負の世界である。負けたときはいつまでも悔やまず、それを引きずらないように心を切り換え、常に平常心を保つよう心掛けていた。また、対局のスケジュールに合わせて、ベストなコンディションづくりにも気を付けているが、何といても、精神が集中できるような環境が大切となってくる。対局する場所もそのような観点から閑静な場所が選ばれている。

現在、川崎市にある自宅は都心から車で三十分位、緑の木々に囲まれ小鳥たちの囀りが聞こえる所であるが、疲れた神経を和ませてくれている。

工作上、全国各地を訪れることも多いが、宮城県は他の各地と比べても、自然と街並が調和している地方であると感じている。

また、対局などで帰郷する機会がしばしばあるが、新幹線の開通で大変便利になった。便利さは非常に有り難いものである。

今、あちこちで環境問題が取り上げられているが、我々の世界でも前述のとおり、環境は重要なことと考えている。

「開発と環境保全」うまくバランスを取りながら進めていただき、郷土のますますの発展を切望するものである。



カタクリ

## みやぎの環境 第八号

CONTENTS	
故郷に想う	中原 誠 2
特集◎子供とともに考える地球を救う豊かな感性	3
しぜん	
七ツ森とタンガラ森	柴崎 徹 8
エコライフ	
スターウォッチングをしてみよう	10
みんなで進めようリサイクル	11
地球にやさしい商品	11
INFORMATION	
NEWS・環境伝言板	12
紹介・環境情報センターから	13
見る・聴く・ふれる	
サンクチュアリセンター「きたて館」	14
まちなみ	
スモールアンスペース(SUS)	近江 隆 15
G A I A 「文化財」	戸村 正昭 16

## 子供とともに考える



海岸での「漂着・投棄ゴミ調査」(石巻市長浜海岸)

現在の環境問題の特徴は、オゾン層の破壊や地球の温暖化などの地球環境問題に代表されるように、空間的な広がりとともに時間的な広がりを持つことです。

これらの環境問題は徐々に進行するため、現代に生きる人には認識しにくい面がありますが、一旦影響が生じると取り返しがつかなくなるおそれがあります。

かけがえのない環境を将来にわたって維持するためには、若い世代、特に将来の担い手である子供とともに、今の時点で何をすべきか、何ができるかを考える必要があるのではないのでしょうか。

# 子供とともに考える

— 地球を救う豊かな感性 —



環境子どもサミット



## 子供たちからの メッセージ

子供の特徴は、身の回りのあらゆる事柄に対して豊かに感受することです。特に子供たちの学習や遊びの場は主に地域にあるため、身の回りの環境の大切さやその移り変わりに対しては、私たち大人以上に認識しているといえるでしょう。

それだけに、環境について子供から発せられるメッセージには考えさせられることも多いはず。私たちはそれを真摯に受けとめ、疑問に対してはきちんと答えてあげることが大切です。

「守ろう地球号 ひどりひどりが乗組員」を合言葉に平成五年十月十三日から十八日まで、石巻地域で「エコみやぎ93石巻」(主催:宮城県)が開催されました。「エコみやぎ93石巻」では、地域でできる環境保全のための取組を子供とともに考えてみようという目的で、環境子どもサミットや海を考えるワークショップ、地球環境展が実施されました。

### 環境子どもサミット

十月十三日には石巻文化センターで開会フォーラムが開催され、メインイ

ベントとして、「いま私たちにできること」をテーマに環境子どもサミットが行われました。当日は、鳴瀬町立浜市小学校や石巻市立門脇小学校の生徒を含め四百人以上の参加がありました。サミットは、関口怜子氏(ハート&アート空間ピーアイ主宰)の司会により進められ、加藤陸奥雄東北大学名誉教授、宮城県志波姫町出身のシンガーソングライターみなみらんぼう氏の他に、石巻地域の小学生の代表四人がパネリストとして参加しました。

サミットで、身の回りの環境について、八巻英成君(石巻市立門脇小学校六年)から「道路の真ん中にタバコの吸殻がいつばい落ちていたり、海岸に空き缶が落ちていたので、飲み食いしたらポイ捨てをせよと自分で始末してほしい。」という意見があり、これについて加藤氏から「子供のうちはみんな大人に対して文句があると思うけど、自分が大人になったら絶対にやらないと決心してほしい。そうすれば、地球の自然は守られていくと思う。」というアドバイスがありました。阿部広彦君(女川町立女川第二小学校六年)からは「身近なところで土の部分がどんどん減っているの、何とかしてほしい。」という意見があり、これについて関口氏から「全部がコンクリートでいいはずはないので、どうしたらいいのかなということと一緒に考えていこう。」というアドバイスがありました。

また、環境を守るために取り組んでいることとして、石森幸恵さん(鳴瀬町立浜市小学校五

年)から「台所の流しから油などを流さないようにしています。」という紹介があり、渡辺英恵さん(石巻市立門脇小学校六年)からは「マヨネーズなどの調味料は最小限にして、食べ残しは取りのぞいてから洗うようにしています。」という紹介がありました。どちらも生活排水による川や海の汚染を防ぐために、家庭でできる重要な取り組みです。

ゲストのみなみ氏は、ご自身のお子さんとのおふれあい体験談として紹介しながら、「お金のかかるところへ遊びに行くよりも、自然の畑や田んぼで遊んだほうが、あざやかな思い出となって、お父さんやお母さんになったときに子供にもまたしてあげられるということになる。だから、幼少年代にはなるべくそういつつ家族での思い出を、自然の中でいつぱいつついつたほうがいいと思う。」という意見が出されました。思えば、私たち大人は誰もが子供の頃に山や川に遊びに行ったり、美しい海に感動した経験を持っています。豊かな環境をずっと守っていくと同時に、子供たちが自然とふれあい、豊かな感受性を育むことができるよう、一緒に自然を楽しみ、学ぶことが必要です。

サミットの最後には、パネリストの小学生四人から環境を守るためにみんなで力を合わせていくことを約束する「いしのまき環境こども宣言」が発表されました。



「いしのまき環境こども宣言」の発表

私たちはいま地球の環境が  
とても傷つけられていることを知っています。  
海で油にまみれて死んでいく鳥や魚たち。  
酸性雨で枯れてしまった森。  
もうこれ以上、地球を傷つけないでください。  
21世紀に大人になる私たちは  
宇宙船地球号の乗組員として  
世界中のこどもたちと手をつないで  
地球を守っていきたいと思います。  
そして私たちの住む「いしのまき」の海や山の  
自然をいつまでも美しく保つていくために  
みんなで力を合わせていくことを約束します。

○いしのまき環境こども宣言

### 地球環境展

十月十六日から十八日まで、みやぎ生協石巻駅前店で、地球環境問題のパネルやジオラマなどを展示した地球環境展が開催され、三日間で約千五百人の参加がありました。この中で特に人気を呼んだのが、故坪田愛華さんの漫画「地球の秘密」のパネル展示でした。

平成三年十二月、島根県斐川町立西野小学校の六年生だった坪田愛華さんは、環境問題について担任の先生から与えられた課題を、得意の漫画で表現し、一冊の本にまとめました。ところが、漫画を描き上げた直後、脳内出血で倒れ、その短い生涯を閉じました。遺作となった漫画「地球の秘密」は、地球環境の危機を訴え、みんなで地球を守ろうというメッセージを描いたもので、読む人々に感動を与え、全国的にも大きな反響を呼びました。また、平成五年五月には国際的な環境功労者に贈られるUNEP(国連環境計画)のグローバル500を受賞されました。

愛華さんの漫画を展示した地球環境展でも、小学生を中心に、次のような感想が寄せられました。

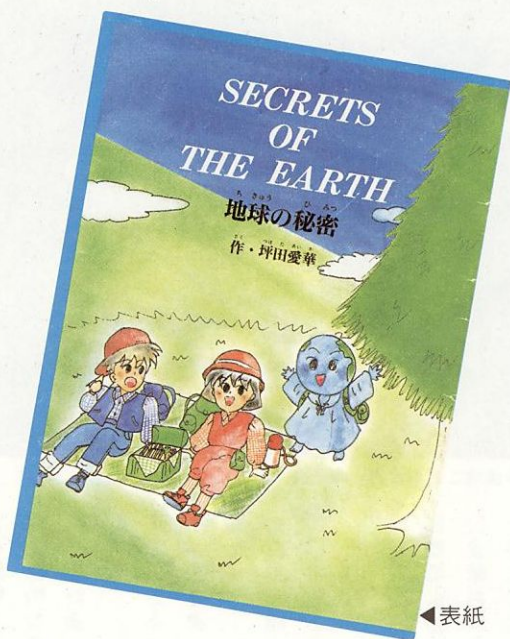
- ゴミ問題を早くなくすには、地球の人たちが協力しあっていかなければならない。私も大人の人たちも責任があると思う。
- 愛華さんの漫画は、とてもすばらしくって、とてもわかりやすく勉強になりました。
- 愛華ちゃんのまんがを見て、もっと地球を大事にしようと思いました。

愛華さんは、本を作った感想として「環境について、私一人ぐらいという考えはやめようと思います。それを世界中の人がすれば、一発で地球はだめになると思います。みんなで協力しあって、美しい地球ができればいいです。」と述べています。私たちは、とかく自分たちの日常生活がどれほど豊かな環境の恩恵を受け、またその環境に負荷を与えているかを意識せず見過ごしがちです。愛華さんが残してくれたメッセージを、もう一度考えてみる必要があるのではないのでしょうか。



地球環境展

坪田愛華さんの作品



表紙

子供たちの取り組み

十月十四・十五日には、身近にある海岸の「漂着・投棄ゴミ調査」を通して環境問題を考えてみよう、と、海を考えるワークショップが開催されました。

ワークショップは、十四日は石巻市立鹿妻小学校・同渡波小学校の参加により石巻市の長浜海岸で、十五日は鳴瀬町立野蒜小学校の参加により鳴瀬町の野蒜海岸で行われました。

調査は、十人一組のグループごとに、海岸のゴミを集めるもので、長浜海岸では一時間ほどの間に下記のようなたくさんさんのゴミが集められました。特に、ペットボトルや空き缶など日頃の生活やレジャーから出されるゴミが多く、中

には車のタイヤや冷蔵庫まで捨てられていました。

私たちは、毎日の生活でゴミを出し、捨てることを繰り返しているの、ゴミ問題は子供たちにとつて最も身近な環境問題といえます。子供たちも「漂着・投棄ゴミ調査」を通して、ゴミの適切な処理やリサイクルの大切さを考えるきっかけとなったようです。

石巻市  
長浜海岸のゴミ  
ワースト5

- 1 アルミ缶
- 2 木片
- 3 ロープ・網
- 4 ペットボトル
- 5 ビニールヒモ





海岸での「漂着・投棄ゴミ調査」(鳴瀬町野蒜海岸)

また、自然保護の観点から具体的な活動に取り組んでいる子供たちもいます。宮城県内には、自然に親しみ、自然を守り育て、自然を愛する豊かな人間性を育てることを目的として結成された「みどりの少年団」という少年少女のグループがあり、現在約六十団が結成されています。鳴瀬町立浜市小学校では、この「みどりの少年団」活動に学校単位で参加しています。活動の一環として、学校の樹木園にあるたくさんの木の中から毎年自分の木を一本選び、一年を通してその木の成長記録を書いたり、周囲の草とりなどを行っているそうです。このため、六年生になったときには、自分が世話をした愛着のある

木が六本あることになり、木の成長や集まってくる鳥などを勉強するのに役立つというそうです。子供は自分が興味を持ったことに対しては、積極的に学ぼうとします。また、そうすることにより更に各自の視野を広げます。浜市小学校の取り組みは、子供が自然に関心を持ち、それを理解し大切にすることを養う上で、効果的な一例といえるでしょう。

ともに考えよう

平成四年六月にブラジルのリオ・デ・ジャネイロにおいて、環境と開発に関する国連会議(地球サミット)が開催されました。地球サミットでは、「持続可能な開発」をテーマに活発な議論が行われ、人と国家の行動原則を定めた「環境と開発に関するリオ宣言」やそのための詳細な行動計画である「アジェンダ21」などが採択されました。

この「アジェンダ21」は、二十一世紀に向けての広範な分野に渡る行動計画ですが、その中で「持続可能な開発における子供及び青年」という章があります。この章では、次世代を担う子供や青年が環境保全についての理解を深め、環境への負荷を低減するための取り組みを自主的かつ積極的に行うことが、持続的な発展が可能な社会を構築するために必要であるという観点から、各国の政府がとるべき目標や講ずるべき

措置を規定しています。

このように、世界的にみても環境問題を考える上で子供の参加が必要となっています。

出生率の低下や週休五日制の実施に向けた第二土曜日の休日化など、子供を取り巻く状況は大きく変化しています。家庭や地域、学校において、環境保全の大切さを子供たちとともに一度考え直してみませんか。



●坪田愛華さんの漫画「地球の秘密」に関する問合せは

地球環境平和財団

〒108 東京都港区三田二一七-七

芳和三田綱坂ビル四〇一

TEL・〇三-五五四二-三一六一

FAX・〇三-五五四二-三四三一

まで

# ヒツ森とタンガラ森



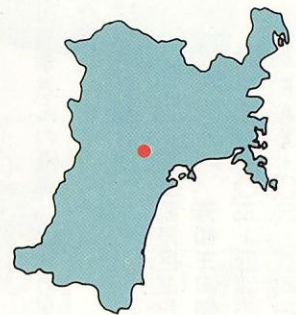
鎌倉山頂のお薬師様



母さんの山・笹倉（宮床より）



一列に並んだ子供の山群（母さんの山・笹倉より）

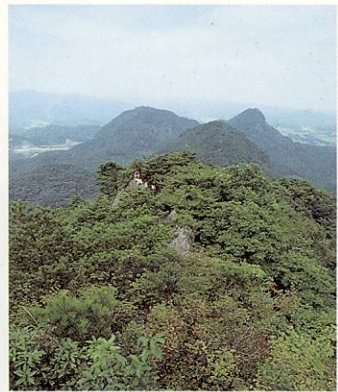


(財)宮城県伊豆沼・内沼  
環境保全財団主任研究員

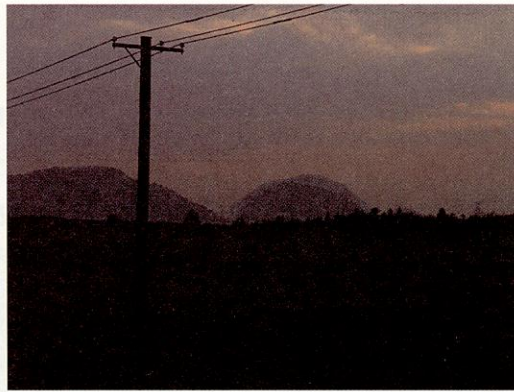
柴崎

徹(文と写真)





撫倉山の蟻ノ戸渡と鎌倉・遂倉



背後の母さんの笹倉の胎内にすっぽりと入った手前の金木倉山（七ツ森金環蝕と呼ぶ）



ハツあつても七ツ森。かわいそうにチビのタンガラ森が継子あつかいされてい  
る。  
奥に聳<sup>そび</sup>える笹倉山は、やさしくおおらかな母さんの山、それは大森山とも呼ばれている。  
対する小さな山々は子供たちの山、六つ行儀よく並んで母さん山に向かい合っている。

ガキ大将の長男・撫倉。イガグリ頭の

次男の大倉。一番東のバチコ（末っ子）の松倉、ちよつと太った三男・鎌倉。やせてはいるが元氣者の四男・遂倉。これらは皆んな男の子。  
そんな中でたった一人の女の子、それが鉢倉山。鉢倉は髪<sup>かみ</sup>の毛ふさふさのおかつば頭。母さんに瓜<sup>うり</sup>二つの器量<sup>きりょう</sup>よし。  
子供の山は皆んな仲よし。時にはけんかもするけれど。

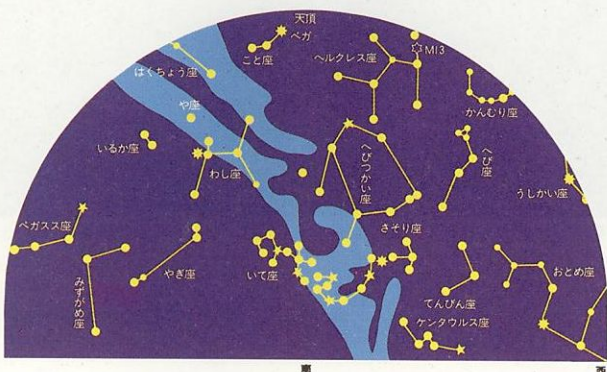
おかしなことに、子供の山はどれも頭

にお薬師<sup>やくし</sup>様をちよこんとのせている。そのお薬師様は皆んな母さんの山・笹倉の頂きにある薬師堂を向いている。  
タンガラ森だけが頭に文殊菩薩<sup>もんじゅぼさつ</sup>をのせている。ここからは鎌倉が邪魔して笹倉が見えない。かわいそうなタンガラ森。  
継子あつかいのタンガラ森。よし、そんならこれからはいつも七ツ森をハツ登つてやることにしよう。

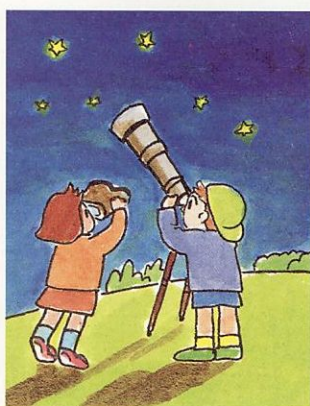
●交通案内●

仙台駅から宮城交通バス吉岡行きに乗り、約五十分、終点で下車する。ここから七ツ森自然遊歩道まではタクシーで約十五分。宮床の信楽寺跡が入口で、ここから伝説の山々の間をぬい、七ツ森湖まで至る。整備されているが、約六キロコースは、歩き甲斐がある。途中にある撫倉山の展望台からは、付近一帯の眺望が楽しめる。

●夏の星座 7～9月の日没後、「こと座」が天頂近くにくるとき観察します。



●観察方法



- (1)まず観察目標を探し、場所がわかったら望遠鏡を向けて視野にとらえて下さい。
  - (2)はっきりと確認できた星の中で、最も暗い星の位置を覚えます。
  - (3)その星の等級を星座から読みとって観察結果とします。
  - (4)何日か観察して平均します。
- 用具／望遠鏡・双眼鏡、三脚、ペンライト（赤色）、記録ノート、星図



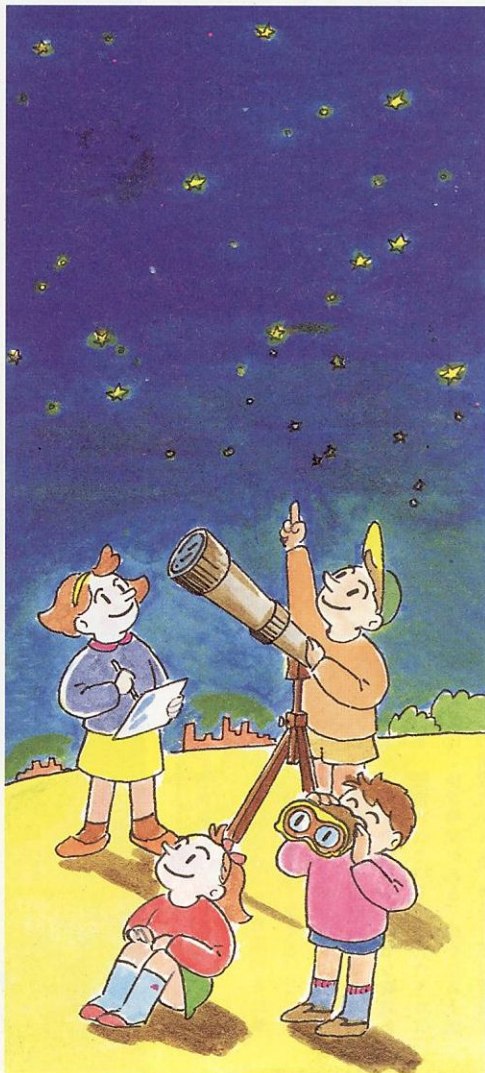
●注意

天体観測のポイントは、目を暗やみによくならすということです。そのため、観測途中で明るい懐中電灯を照らして星図を見たりするのはよいことではありません。また、天体を見るので、くもり、霧、雨などの日はできません。



私達の生活の中で、夜が明るさをまして来ました。そして夜空の星を見上げることは、少なくなつたような気がします。時には自然に親しみスターウォッチングをしてみませんか。

スターウォッチングを  
してみよう



# みんなが進めよう リサイクル

私たちの身のまわりには、モノがあふれ生活を便利にしています。しかしこれらのたくさんのお製品は使われたあとにはゴミとなって焼却されたり、埋立地に行ったりするので。

モノがあふれる社会は、モノをどんどん捨てる社会なのです。こうして廃棄物の埋立地にはまだまだ使えるものが捨てられています。

わが国では、再生利用された資源として、エネルギー・資源の全使用量の約8%に当る一・六億トンを使っています。今後も再生利用・再使用をさらに進め、新たな資源の投入をできるだけ抑え、環境中にもとす不要物の量をできるだけ少なくし、有害な物質をできる限り環境中に出さない、「リサイクル社会」をつくっていくことが必要です。ここで家庭での五つのチェックをあげてみます。

- (1) 捨てる時のことを考えて要らないものは買い控え、環境にやさしい商品を選んでみますか
- (2) 使えるものを捨てたりせず、物を大切に長持ちさせるように使っていますか
- (3) 使えるけれど要らなくなった物は、

不用品交換会に出したり、他の人に譲ったりしていますか

- (4) 紙、アルミ缶、スチール缶、びん、繊維などを分別してリサイクルに出していますか
- (5) リサイクルを進める地域の活動に積極的に参加していますか

リサイクルを進めるために、再生資源の利用の促進に関する法律が平成3年4月に成立しました。その中でメーカーなどの事業者が

- ① 再生資源の利用を進めること
  - ② 製品のリサイクルをしやすくすること
  - ③ 製品に分別のための表示をつけること
  - ④ 工場から出る副産物をリサイクルすること
- などの措置がとられることになっています。
- しかし法律を作つて済むものではありません。その枠組みを活かして社会のそれぞれの立場の人が力を合わせてリサイクルを行わなければリサイクル社会は実現しません。一人ひとりが気のついたところからリサイクル社会つくりを進めて行きましょう。

## 地球にやさしい商品

### 使用済みタイヤ再生品

やっかいな使用済みタイヤも  
タイルなどに再生されています。

タイヤ類はごみとなった場合、たいへんやっかいなものになります。このようなものを再利用した商品にエコマークがついています。



17社17商品にエコマークがついています。  
(1993.6現在)

### 食用油ろ過器

使用後の食用油は、使用後も  
排水に流さずくり返し使用できます。

使用後の食用油をろ過することにより、におい、色がうすめられます。くり返し使用したのち、使えなくなった食用油は排水に捨てず、再生石けんの原料に使用します。



7社8商品にエコマークがついています。  
(1993.6現在)



エコマークです。  
どうぞ、よろしく。

エコマークとは「私たちの手で、地球を、環境を守ろう」という気持ちを表した、環境保全に役立つ商品につけられるシンボルマークです。環境 (Environment) と地球 (Earth) の頭文字「e」が人間の手の形となって、地球をやさしくつみ込んでいるデザインになっています。  
(エコマークの「エコ」とは私たち人間や生物が生きていけるよい環境という意味です)

## 「環境基本法」が公布されました

今日の環境問題は、地球環境という空間的な広がりを持つとともに、将来にわたる影響という時間的な広がりもあわせ持っています。これらの環境問題の広がりに対応する法律として、「環境基本法」が平成五年十一月十二日に成立し、同十九日から公布・施行されました。

環境基本法は、大都市における大気汚染や生活排水による水質汚濁などの都市・生活型公害や地球温暖化などの地球環境問題に適切な対策を講じるために、社会全体を環境への負荷の少ない持続的発展が可能なものに変えていくことを法律の趣旨としています。

### ●基本理念

環境基本法では、環境をなせ、また、どのように守っていくか、という行動原理を明らかにするものとして、次に三つの基本理念を定めています。

- ①環境の恵沢の享受と継承（現在及び将来の世代が恵み豊かな環境の恵沢を享受するとともに、これが将来にわたって継承されること）
- ②環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な社会の構築（環境にやさしい経済社会を構築すること）
- ③国際的協調による地球環境保全の積極的貢献（わが国の国際的地位に及び、地球環境の保全に積極的に取り組むこと）

### ●主な施策

基本理念を実現するために、環境基本法では様々な施策を規定していますが、主な施策としては、次の四

つがあります。

- ①環境基本計画  
広範多岐にわたる環境保全に関する施策を、長期的な観点から総合的・計画的に推進するため、政府が環境の保全に関する施策の基本的な方向を示す環境基本計画を定めることが規定されました。
- ②環境影響評価  
環境影響評価（環境アセスメント）は、事業者が道路の建設などの事業の実施に当たりあらかじめ環境への影響について自ら評価し、その結果に基づき環境保全について配慮することですが、これを推進するため、国が必要な措置を講じることが規定されました。
- ③経済的手法  
ゴミや生活排水など、通常の経済活動や日常生活から生じる環境への負荷を減らしていくためには、市場メカニズムを通じて社会経済活動を環境への負荷の少ないものとする必要があることから、経済的手法の重要性や考え方が規定されました。
- ④地球環境保全に関する国際協力  
の推進

地球環境問題に対処するため、国際協力を推進するとともに、開発途上の国々の環境保全のための支援を行うことなどが規定されました。

このほか、六月五日を「環境の日」とすることなどが、基本法に規定されています。

環境基本法は、わが国が世界に先駆けて、環境政策の基本理念や施策のプログラムを宣言したもので、今後のわが国の環境政策の進展の土台になるとともに、世界に向けて日本の顔を明らかにするものです。

## 「全国野鳥保護のつどい」が開かれます



### ●大会標語：宮城野に四季おりおりの鳥の声

野鳥は、私たちに心の安らぎをあたえ、自然の大切さを教えてくれています。自然に生きるすべての生命の尊さを学び、自然とともに生きる心が育まれることを強く念願して来る平成六年五月十四日（土）十五日（日）の二日間、蔵王町内において第四八回愛鳥週間「全国野鳥保護のつどい」が環境庁、財団法人鳥類保護連盟、宮城県の主催により開催されます。

主な行事は記念式典とバードランドフェスティバルの二つで、関連行事として蔵王野鳥の森自然観察センター（ことりはうす）の開館、早朝探鳥会や林間学校などがあります。

記念式典は、十五日午前「蔵王少年自然の家」特設会場において、環境庁長官ほか野鳥保護に関わる人々が参集し、野生生物保護功労者の表彰、記念放鳥、記念植樹などが行われることになっています。バードランドフェスティバルは同日、蔵王七臼原「ハートランド」を会場としてバードカービング、愛鳥コンサートなどが行われ、フィールドアスレチック、特大すべり台、地場産品販売コーナーなどが設置されます。

バードランドフェスティバルは入場自由（無料）です。ご家族連れ等に最適な催しですので、どしどし御来場下さい。詳しいことは宮城県環境生活部環境保全課内、全国野鳥保護のつどい「宮城県実行委員会事務局までお問い合わせください。（0203-211-2674）

## 六月五日「環境の日」となる

地球化時代の環境問題への対応として、ライフスタイルの変更が強く訴えられておりますが、これを徹底するために、国、地方公共団体、企業、市民など全ての主体が環境保全に向けた各々の取り組みを実施しております。また、これらを支援するための広報活動もますます重要性を増してきております。

これらのことから、先に紹介した「環境基本法」の中で、事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲が高められるように、六月五日を「環境の日」と定めました。

この制定の趣旨を、広く事業者や国民の方々に知っていただくために、「環境の日」周知全国一斉街頭キャンペーンが六月五日、全国規模で実施されます。キャンペーンでは、環境の現状や環境保全の方法等を記載した小冊子が配布される予定です。

## 紹介

### 「岩出山の自然通信」

手づくり自然情報紙という呼び方がびったりくる私信を発行している人がいます。岩出山町に在住している阿部敏一さんです。

「最初は石器を見つけたことから始まったんです。石器を探しているうちだんだん他のものにも興味がでて、植物なんかを観察したことを記録して他の人にも読んで貰いたくなっただけです。」ときっかけは意外なことですが、発行してから現在で約二年、週一回のペースでもう百数十部になっていきます。読者は主に町内の方で発行部数は約百部にのぼるそうです。これだけの数になると経費もバカにならないのでは？という問いには、「いえいえ、読んでいただけるだけでうれしいんです」とのこと。

この通信は、岩出山町を中心とした自然観察記録、といっても図鑑のようにただ記録したものでなく、阿部さんが自分の肌で直接感じたことが飾らない言葉で綴られています。私達が普段なにげなく見ている雑草達も阿部さんの目からみるとなんと生き生きとしてくることか、まるで、阿部さんと草花や動物(虫)達との会話のようです。ある号の中で、化石を見つけてそれを観察しようとして持ち上げたなんとナメクジやらなにやらのお家だったので、「ごめん、ごめん」とそっと石を元のよう

に置いておくと、阿部さんの自然に対する思いやりが実感さ

れます。

そして、この通信を引き立てているのが奥様の聰子さんが描かれている草花の素描です。可憐さに加えて野草の力強さが伝わってくる活き活きとしたもので、より一層に紙面を盛り立てています。きつと読者にもファンが多いのではないかと思います。

こんな経験、知識豊かな阿部さんめずらしい植物なんかを見つけた時は心が震えるそうです。「川渡で『オタカラコウ』を見つけた時は本当に嬉しかったし、春になったら、ツバメオモト』を見にいくなつたら、楽しみなんです。」と語る声が一段と熱くなっていました。将来は、二百号位を目処に他にも感じたことなどを書き加えて一冊の本にまとめるのが夢だと語っておりました。



画 阿部聰子  
193.10.20  
ヒメミチ

「岩出山の自然通信」に関するお問い合わせは

岩出山町二ノ構二六

阿部 敏一

電話 〇三九(八四)七二二

## 環境情報センターから

### 新しいミニパネルができました

環境情報センターでは、(財)日本環境協会が推奨しているエコマーク商品の対象品目、五十五品目中、二十二品目について、それぞれの概要を説明したミニパネルを作製しました。サイズはタテ二十五cm、ヨコ十八cmのB5判型です。紙足が付いていますので、立て置きすることが

でき、前にエコマーク商品等を並べると手軽に展示用として利用することができます。小グループの勉強会、研修会等広い場所がなくても充分活用できますので、ぜひご利用ください。貸出用として二セット用意しております。

環境情報センターでは、県内の環境に関する各種計画調査結果、環境に関する図書等を収集し県民の方々への閲覧、貸し出しに供しています。

そのなかから今回は生涯学習として最大の課題とされており環境教育に関する図書の一部を紹介いたします。

書名	著者	発行所
環境教育シリーズ5巻		
1 子どもと環境教育	阿部 治	東海大学出版会
2 学校と環境教育	大田 堯	//
3 社会と環境教育	岡島成行	//
4 地球と環境教育	藤原英司	//
5 科学と環境教育	松前達郎	//
環境教育のすすめ	沼田 真	//
環境教育論	沼田 真	//
環境教育実践ハンドブック	環境教育推進研究会	創第一法規
環境教育の理論と実践	福島要一	あゆみ出版
環境教育のあり方とその実践	富樫 裕	実教出版

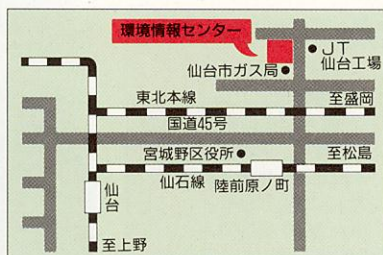
〒983

仙台市宮城野区幸町4-7-2  
宮城県保健環境センター1F  
宮城県環境情報センター  
TEL022(257)7181 内線29

利用時間/月～金曜日、午前9時から午後4時まで

休館日/土・日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

交通/仙台市営バス 保健環境センター・たばこ工場前下車すぐ



サンクチュアリセンターつきだて館

# 昆虫の世界を通してみる

## 伊豆沼・内沼の自然

「サンクチュアリセンターつきだて館」は、宮城県の北部、日本

で二番目のラムサール条約指定登録湿地として有名な伊豆沼・内沼のほとりに位置し、木造二階建て、切妻屋根作り（延べ床面積四六五・二四㎡）で、平成五年七月開館しました。

伊豆沼・内沼は、停滞性の強い浅い湖沼で、湖岸には、ヤナギ、マコモなどがよく繁茂していてチョウ類やトンボ類の良好な生息地となっています。

「つきだて館」のテーマは、昆虫の世界を通してみる伊豆沼・内沼の自然です。本館、追館と連動しながら「伊豆沼・内沼サンクチュアリの創造」を担う施設としての役割も果たしています。

建物の内容は、内沼の四季をイラストした大型パネルを展示しているエントランスホールをはじめ次の三つのコーナー構成が中心に

なっています。

### ●展示室

チョウやトンボなどの標本を、約二千点展示しています。

伊豆沼・内沼にみられるチョウ類は四十五種、トンボ類は三十八種にのぼります。中でも水辺を生息地とするイトトンボ類がたくさん見られるのが特徴です。

### ●映像室

伊豆沼・内沼をより知ってもらうため、映像により七分間の紹介があります。マスコットの「ちよちゃん」が登場、昆虫の目から見た伊豆沼・内沼を案内します。

### ●展望室

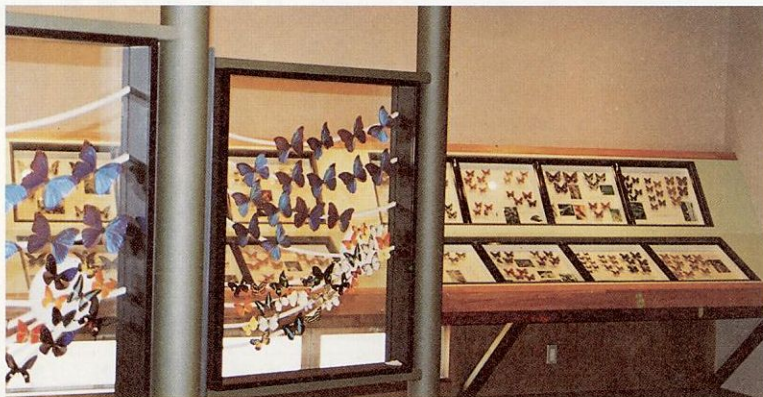
二階に大型望遠鏡を設置、内沼の四季折々の風景や野鳥、昆虫、植物などを覗くことができます。

その他、学習のためのレクチャールームも備えています。

自然とのふれあいをおおいに深めていただきたいと思います。

## ガイド

- 交通案内  
JR東北本線新田駅より車で5分  
JR東北新幹線くりこま高原駅より車で10分  
東北自動車道築館I・Cより車で10分
- お問い合わせ  
宮城県築館町 商工観光課  
TEL0228 - 22 - 1113



## センター利用のご案内

- 開館日 火曜日～日曜日
  - 休館日 毎週月曜日  
(月曜が国民の祝日にあたる場合は、その翌日)
  - 開館時間 午前9時～午後4時30分
  - 入館料 大人100円(80円)  
小人 50円(40円)
- ( )内は団体料金です。団体は20人以上とします。



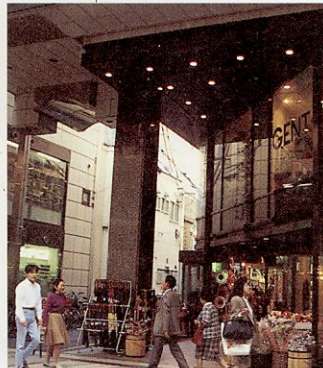
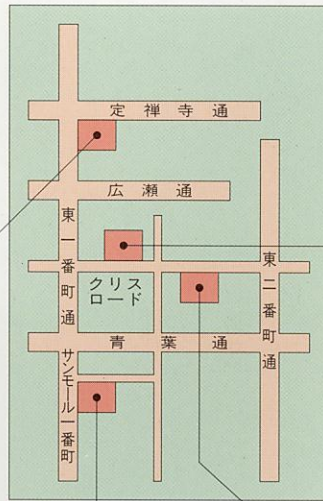
# 小さな凹みが街路を豊かにする スモール・アーバン・スペース(SUS)

東北大学工学部助教授 近江 隆

仙台市の中心商店街では街路と建物との間に小さな空間がよくみられる。通常、人々は街路を二本の平行した線とイメージするが、現実はこの空間がつくる無数の凹凸で構成される。土地の権利の範囲を示す官民境界が、法的な公私の領域を直線的に分けるのに対し、SUSは不特定多数に利用されることによって公的領域としての街路と私的領域としてのSUSとの間に相互作用を発生させる。SUS内には待合せ、休息など私的行為が誘引され、セミパブリックな領域として機能し、商店はワゴンや看板を街路に並べてセミプライベートな領域として活用している。これは一種の交換関係であり、そこに街路と敷地に跨がる独自の領域が形成される。それが大型化し、連坦するところではイベント、パフォーマンス、勧誘、チラシ撒きなどの都市的アクティビティが誘引され、SUS効果とよぶ街路の賑わいがみられる。アーケードやモールづくりが進む中で、SUSは建物と街路の応答関係が多様な景観と街の個性を創り出す重要な要素であることを再認識させてくれる。

## 交通

- 東北電力ビル前又は中央警察署前下車
- 仙台駅から仙台市営バスに乗り、中央通り藤崎デパート手前及び一番町4丁目141ビル前に見られる



# GAIA

ガイア

## 「文化財」

東北歴史資料館学芸部長

戸村正昭

かつて、県北のある分校で教師をしていたころ、よく生徒達に郷土の歴史を調べさせたことがある。そこは古き時代の醇風美俗がまた残っているような農村地帯で、歴史学習には恰好な教材が随所に見られた。文化祭では、地域に残る様々な文化遺産を収集して展示してみた。農具、生活用品、古文書、遺跡の出土品など、その膨大な量に生徒達は大歓声をあげたものである。また村の秋祭りに、学校あげてお神楽の練習に励んだことも、楽しい思い出のひとつである。

最近、仕事の関係で、久し振りに当地を訪ねる機会を得た。下宿の茅葺屋根もすでになく、鎮守の森は伐採され、心地好かった田舎道も舗装されるなど、懐かしい農村は想像以上に変わっていた。残念だったのは、かつて容易に収集できた文化遺産の多くが滅失したり破壊されている現状を知ったことである。

わずか四半世紀、加速度的な社会の変化の中で、いかに自然や文化遺産が脆弱であったか、改めてこれらの保護対策の大切さを痛感させられた。

GAIA (ガイア) とは「生きる地球」という意味で使われる環境についての用語。もとはギリシア神話で大地の女神のこと。

「みやぎの環境」第8号平成6年3月22日発行(年2回3月・9月発行)

●発行所 〒983 仙台市宮城野区幸町四丁目7番2号

●宮城県環境情報センター TEL 022(257)7181

●印刷 株式会社ソノベ

●編集委員 高橋富基、鬼頭孝之、宗久和義(保健環境センター)、遠藤清(環境政策課)、松浦勉(環境対策課)、菅原康弘(環境保全課)、鈴木正章(廃棄物対策課)、千葉孝男(栗原保健所)、吉田祐二(石巻市)、伊藤禮子(山元町)



この冊子はエコマーク認定の印刷用再生紙を使用しています。